

# 議題2

## 将来の交通像を実現する 基本方針及び交通施策について



## ▶ 前回会議での主なご意見

### 【意見】

#### 議題3：藤沢市の交通の方向性について

全体の方向性は概ね賛同。市民視点の切り口だけでなく、市外・外国人の視点から将来の方向性を考えてもよいのでは。

渋滞に関する具体的な緩和策の提示を。

新技術についての時間軸をどうとらえていくか。マイルストーンを示すとよいのでは。

交通事業者へのサポートの話があったが、行政としてしっかりとサポートしていくべき。

SDGsについて、「3. すべての人に健康と福祉」、「9. 産業と技術革新の基盤」を盛り込んでいるが、SDGsの目標の趣旨と合わないのでは。

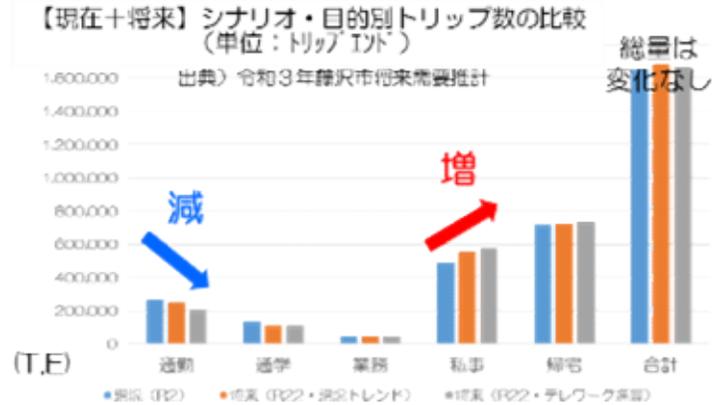
自動運転について、公共交通の優位性が高いことを示した方がよい。インフラは限られているので、自動運転とは言っても渋滞につながる。

将来交通像で5つの視点について、施策の内容とゴールの内容が混ざっている。5つの視点からの整理を行い、暮らしを中心に考える。

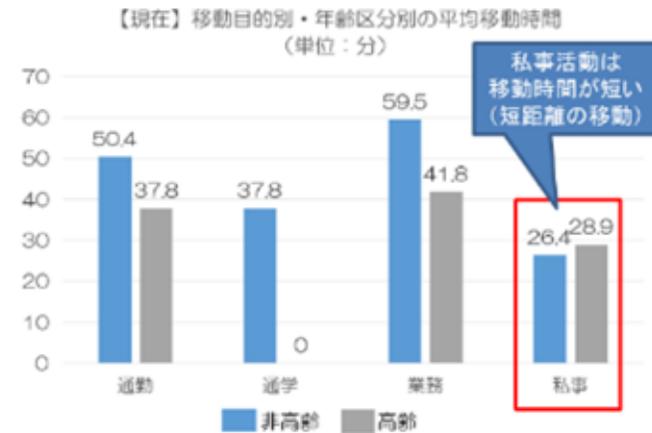
公共交通への利用転換により、継続できる地域、そうでない地域でわけてはどうか。地区別と視点別のクロスができるとうよい。視点ごとに地区ごとの在り方を整理していくやり方でよいと思う。

## 【再整理】 今回の改定のポイント⇒「私事」移動への着目

□ 通勤が減少し「私事」が増加すると予想



□ 「私事」移動は移動時間が短い(現状)



移動距離の短い移動が増加

移動距離が短い = 日常生活の基盤となる**生活エリア**における移動

主な移動先

- ・日用品を購入するスーパーやコンビニ
- ・公民館や集会所
- ・診療所などの身近な医療機関 (かかりつけ医)

日常生活における移動を支える視点

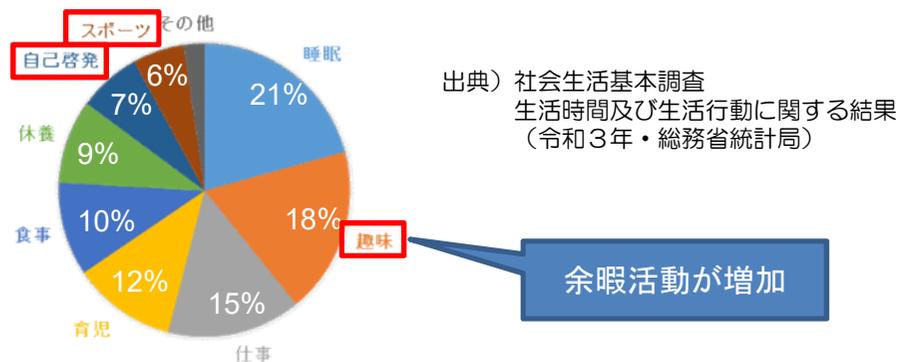
暮らし



## 【再整理】 今回の改定のポイント⇒「私事」移動への着目

- テレワークの実施によって増加した時間は、趣味、自己啓発、スポーツなど「余暇活動」に充てられている

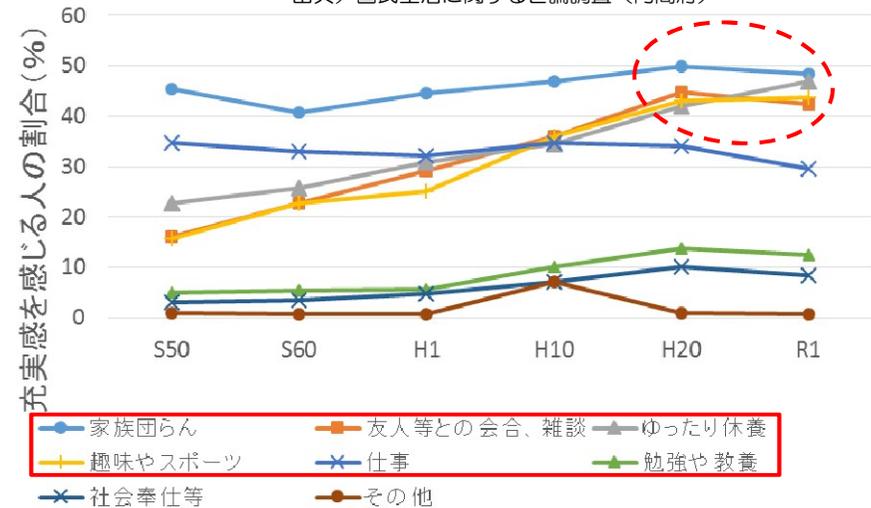
テレワークの実施により増加した行動の割合



- 仕事以外の余暇時間に充実感を感じる傾向

「充実感を感じる時」の経年変化

出典) 国民生活に関する世論調査 (内閣府)



日々の充実につながる余暇活動の充実を  
移動の充実により支える視点

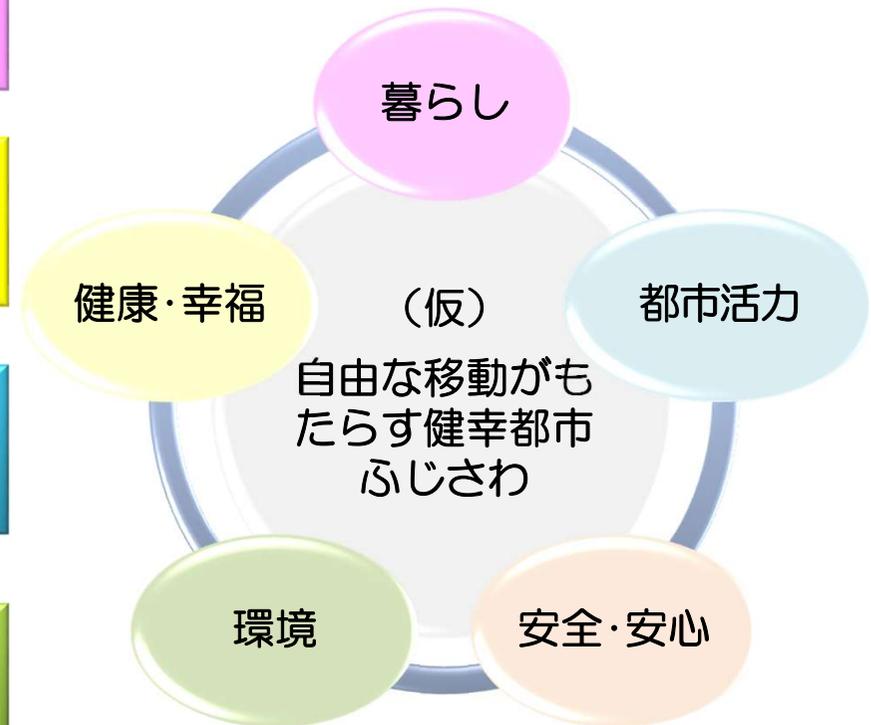
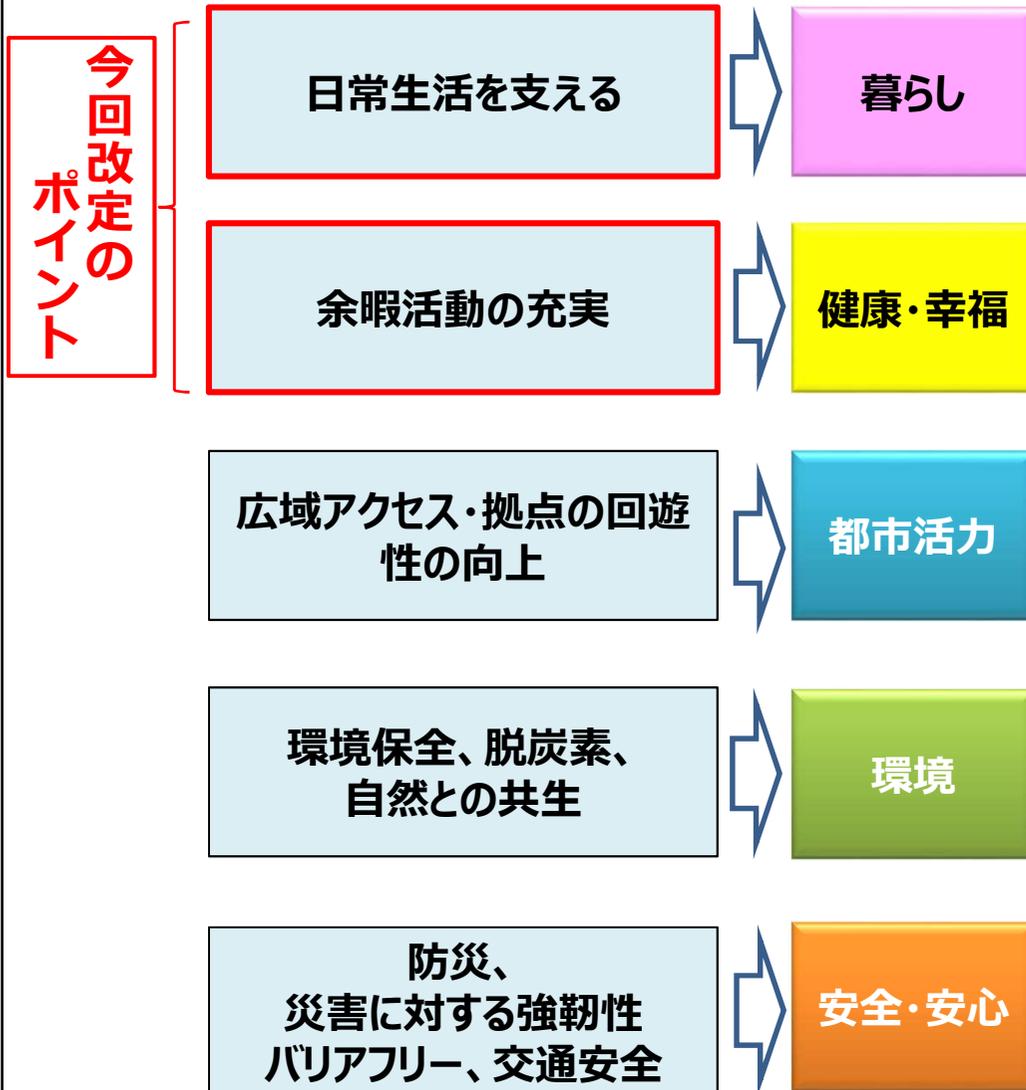
健康・幸福

余暇活動の充実が長距離トリップの増加につながる



【再整理】 今回の改定のポイント⇒ 「私事」移動への着目

## ○交通課題・重視する視点

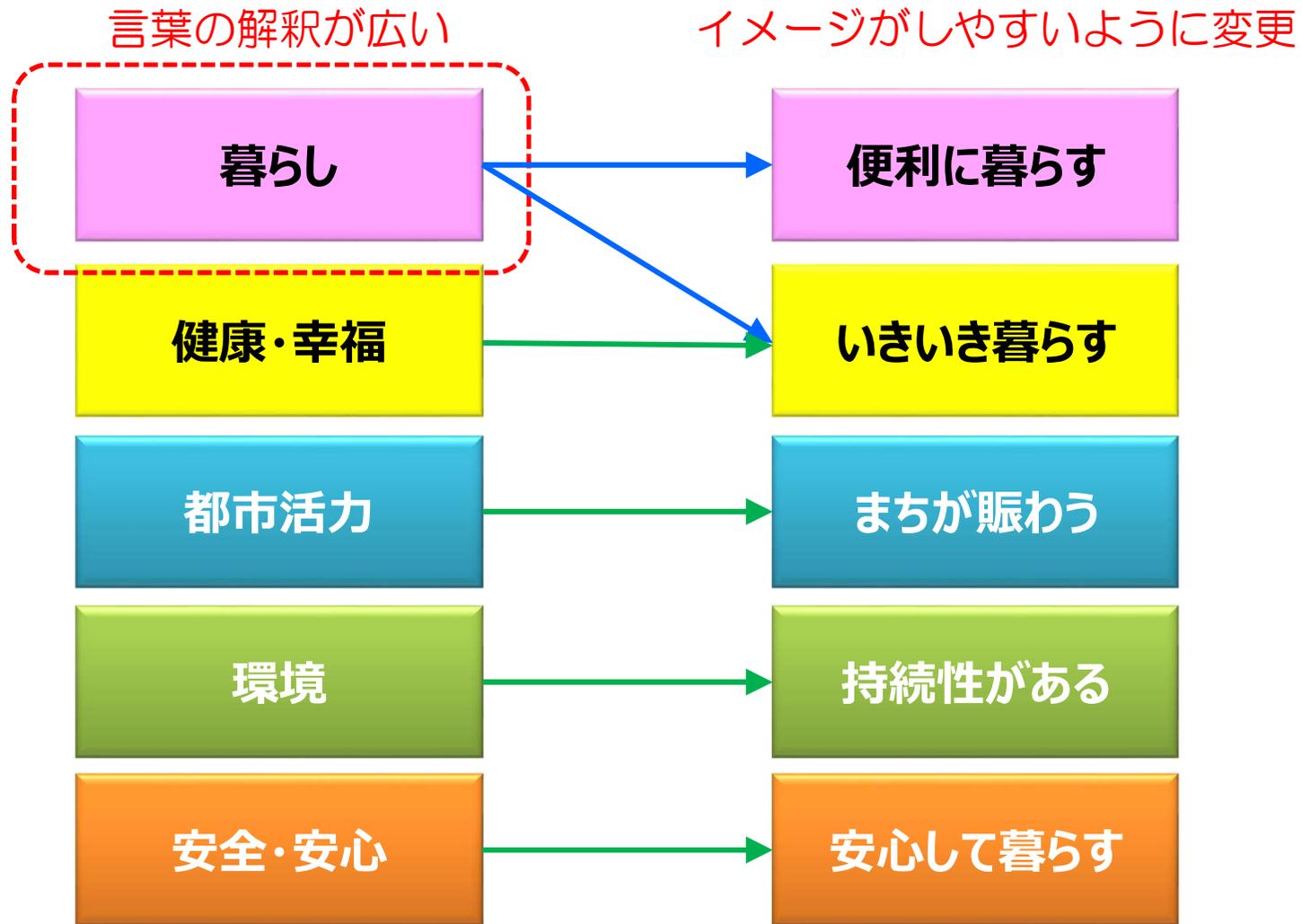


将来の交通像のイメージ



【再整理】 今回の改定のポイント⇒ 「私事」 移動への着目

## ○重要視する5つの視点



## 便利に暮らす

### 【めざす交通体系】

- 生活に必要な日用品の買い物、医療機関の受診等ができる身近な生活施設や拠点まで、自家用車に過度に頼らずに移動でき、通勤・通学を含め、日々の生活において移動に支障がなく、便利に生活ができる状況



### 【基本方針1】日常生活を支える交通まちづくり

#### ● 地域特性に応じた交通サービスの充実

#### 1. 日常生活を支えるラスト（ファースト）ワンマイルの充実

自宅からの日用品の買い物などへの移動や、通勤・通学時の自宅から駅まで、自宅からバス停までの移動において、過度に自家用車に頼らず移動するため、交通手段の充実を進めます。

歩行環境・自転車利用環境の整備、  
バス、乗合タクシー、シェアモビリティ 等

#### 2. 日常生活を支える物流環境の充実

インターネットショッピングなど家にいながら買い物等の目的が果たせる社会が実現している一方で、各家庭への物流については、その取扱量が増加していることから、物流の効率化など、物流環境の充実に向けた取組を進めます。

荷捌き環境、物流のラストマイル 等

## 便利に暮らす

### 【めざす交通体系】

- 生活に必要な日用品の買い物、医療機関の受診等ができる身近な生活施設や拠点まで、自家用車に過度に頼らずに移動でき、通勤・通学を含め、日々の生活において移動に支障がなく、便利に生活ができる状況



### 【基本方針1】日常生活を支える交通まちづくり

- **地域特性に応じた交通サービスの充実**

#### 3. 日常生活を支える公共交通網の強化

日常の通勤・通学などで利用する、鉄道やバスなど、公共交通網の強化を進めます。

バス交通の強化・維持 鉄道延伸 新駅設置 等



## 便利に暮らす

### 類型化した地域ごとの主な特徴の整理

類型化した地域	地域の特徴			重要視する取組
A-1 (藤沢・辻堂・鶴沼・ 村岡・明治・片瀬)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 最寄り駅に行けば生活に必要な目的を達成することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 徒歩・自転車で目的を達成することができるような短い移動が多い状況</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>駅へのアクセスを重視した施策</u></li> <li>● <u>歩行環境・自転車利用環境の整備</u></li> </ul>
A-2 (湘南台・長後)			<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 交通空白地の人口割合が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>駅へのアクセスを重視した施策</u></li> <li>● <u>歩行環境・自転車利用環境の整備</u></li> <li>● <u>交通空白地を縮小するための施策</u></li> </ul>
A-3 (善行・六会)				<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>駅へのアクセスを重視した施策</u></li> <li>● <u>交通空白地を縮小するための施策</u></li> </ul>
B-1 (湘南大庭)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 将来人口の予測で高齢者割合の増加が予想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「私事」目的の自動車利用割合が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地区内に商業施設・行政施設等が集積する生活拠点がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>地区内の生活拠点までのアクセスを重視した施策</u></li> </ul>
B-2 (遠藤)		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自家用車に頼らざるを得ない実情がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新たなまちづくりにより、新たな生活拠点が生まれる</li> <li>▶ 将来的にはいずみ野線延伸により、新駅ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>自家用車に過度に依存しない移動を促進するための施策</u></li> <li>● <u>将来形を踏まえて生活拠点までのアクセスを重視した施策</u></li> </ul>
C (御所見)				<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>自家用車に過度に依存しない移動を促進するための施策</u></li> </ul>



## 便利に暮らす

### 【基本方針（施策の方向性）】

- 地域特性に応じた交通サービスの充実

### 1. 日常生活を支えるラスト（ファースト）ワンマイルの充実

#### ○ 新たな施策（候補）

- **新** シェアモビリティなど多様な交通モードの導入支援



湘南地域で実証中のシェアサイクル



実証を行った電動キックボード



## 便利に暮らす

### 【基本方針（施策の方向性）】

- 地域特性に応じた交通サービスの充実

### 1. 日常生活を支えるラスト（ファースト）ワンマイルの充実

#### ○ 新たな施策（候補）

- **新** 主要なバス停における交通結節機能の強化を目的としたモビリティ・ハブの整備



ドイツ・ハンブルグのモビリティ・ハブの例

国土交通省ホームページより



## いきいき暮らす

### 【めざす交通体系】

- 余暇活動を目的とした市民の外出を、自家用車に過度に依拠しない交通環境の充実が支え、身体活動の誘発による健康度の上昇や人との交流を伴う余暇活動により、生活の質（QOL）が向上し、いきいきと暮らせる状況。



### 【基本方針2】体も心も豊かにする交通まちづくり

#### ● 余暇活動を促す交通環境づくり

##### 1. 余暇活動を促進するファーストワンマイルの充実

自宅から駅やバス停、または自宅から直接目的地に向かう際の移動手段が充実し、余暇活動を促進するよう移動手段の充実を進めます。

シェアモビリティの充実、乗合タクシー  
歩行環境・自転車利用環境の整備 等

##### 2. 移動しやすい環境の整備

徒歩・自転車・公共交通での移動が、快適に行えるような交通環境の整備を進めます。

ウォークブル、無電柱化、狭あい道路の改善  
交通結節機能の強化、ICTの活用 など



## いきいき暮らす

【基本方針（施策の方向性）】

- 移動を促進する交通環境づくり
- 2. 移動しやすい環境の整備

○ 新たな施策（候補）

① 公共交通の利用促進を目的としたICTの活用検討



MaaS概念図（国土交通省）

## いきいき暮らす

【基本方針（施策の方向性）】

● 移動を促進する交通環境づくり

2. 移動しやすい環境の整備

○ 新たな施策（候補）

○ **新** 歩いて楽しい歩行空間づくり（ウォークアブル）



国土交通省のホームページより



藤沢駅北口で行ったオープンカフェ



## まちが賑わう

### 【めざす交通体系】

- 魅力ある市内の都市拠点に、人・モノが円滑に移動できるとともに、都市拠点内での回遊性が高く、人が集い、憩い、まちに賑わいがある状況。



### 【基本方針3】まちの賑わいを生み出す交通まちづくり

#### ● 骨格的な交通ネットワークの強化

##### 1. 広域的な交通ネットワークの強化

都市間の交流・連携を支え、首都圏、全国の他都市から本市へ快適に移動できる移動環境の形成に向けて取り組みます。

高速道路網の整備促進、東海道新幹線新駅誘致 等

##### 2. 市内の道路事情の改善

人・モノの効率的な移動のため、通過交通の適切な処理などにより、道路混雑の緩和に資する取組を進めます。

都市計画道路の整備、踏切道の改良 等



## まちが賑わう

### 【めざす交通体系】

- 魅力ある市内の都市拠点に、人・モノが円滑に移動できるとともに、都市拠点内での回遊性が高く、人が集い、憩い、まちに賑わいがある状況。

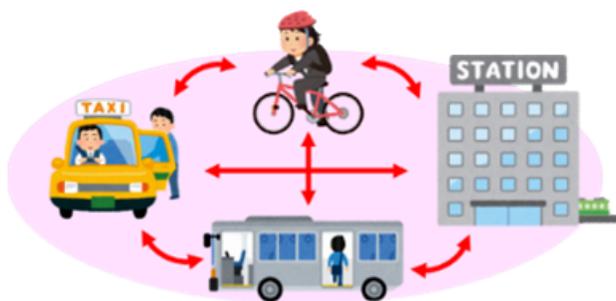
### 【基本方針3】まちの賑わいを生み出す交通まちづくり

#### ● 都市拠点の賑わいを生み出す交通機能の強化

##### 1. 都市拠点の交通結節機能の強化

都市拠点の交通結節機能の強化を図り、拠点としての魅力を高めつつ、回遊のしやすさ、乗り換え利便性などの向上を図り、市内、市外、インバウンドの来訪者が訪れやすい拠点とします。

藤沢駅周辺の再整備、(仮)村岡新駅周辺の整備  
シェアモビリティの充実、ウォークブル、  
インバウンド観光客への対応 等



## まちが賑わう

### 各都市機能集積地域における現状の整理

都市機能集積地域	各機能の強さ											
	買回り品		医療		飲食		観光施設		公共施設		交通結節機能	
藤沢駅周辺	強	デパート、家電量販店、専門店など多数あり	強	クリニックなどが多数	強	多数の飲食店が集積	中	宿泊施設あり	強	市役所、図書館、税務署、市民会館などが集積	強	鉄道間、バス—鉄道間共に乗換利用が多い
辻堂駅周辺	強	大型ショッピングモール(専門店)、家電量販店などあり	強	クリニックなどが多数	強	多数の飲食店が集積	中	宿泊施設あり	中	パスポートセンター、図書館などが集積	中	バス—鉄道間の乗換利用が多い
湘南台駅周辺	中	個別専門店が点在	中	クリニックなどが多数	強	多数の飲食店が集積	中	宿泊施設あり	中	文化センター、図書館、公園などが集積	強	鉄道間、バス—鉄道間共に乗換利用が多い
片瀬・江の島	弱	観光客ターゲットの店舗が多い	弱		強	多数の飲食店が集積	強	江の島、湘南海岸、水族館など多数の観光施設が集積	弱		中	乗換目的の利用者は少ない

拠点の特性に応じた役割分担が必要

## まちが賑わう

### 【基本方針（施策の方向性）】

#### ● 骨格的な交通ネットワークの強化

#### 2. 市内の道路事情の改善

#### ○ 新たな施策（候補）

**新**踏切道改良促進法に基づく改良すべき踏切道の改良の推進



改良すべき踏切道



## 持続性がある

### 【めざす交通体系】

- 環境負荷の低い交通への転換が進むとともに、環境にやさしい自動車の普及やグリーンインフラの導入など、カーボンニュートラルの実現に向けた環境負荷の低い交通環境が実現している状況。



### 【基本方針4】環境負荷の低い交通まちづくり

#### ● 環境にやさしい交通環境づくり

##### 1. 環境負荷の小さい自動車の普及促進

電気や燃料電池などの環境負荷の小さいエネルギーを用いた自動車の普及を促進します。

電気自動車・燃料電池自動車などの普及促進 等

##### 2. 公共交通の利用促進

自家用車より環境負荷の少ない公共交通利用による環境面でのメリットなどを周知するとともに、公共交通を利用しやすい環境を整備し、公共交通の利用を促進します。

##### 3. 自転車の利用促進

身近な移動手段で、環境負荷の少ない自転車利用環境の向上をめざし、自転車に関する部門別計画である「ふじさわサイクルプラン」と連携して進めます。

## 安心して暮らす

### 【めざす交通体系】

- 災害に備えた強靱な交通環境を整備するとともに、日常の安心な移動を実現するための交通安全への取組や、交通施設のバリアフリー化等を進めるなど交通環境が整備され、誰もが安心して暮らすことができる状況。



### 【基本方針5】人にやさしく災害に強い交通まちづくり

#### ● 災害に強い交通まちづくり

##### 1. 災害に備えた交通基盤の整備

いつくるかわからない災害に備え、強靱性（レジリエンス）や冗長性（リダンダンシー）のある交通基盤の整備を進めます。

交通施設の耐震化、都市計画道路の整備、  
無電柱化の推進 など



## 安心して暮らす

### 【めざす交通体系】

- 災害に備えた強靱な交通環境を整備するとともに、日常の安心な移動を実現するための交通安全への取組や、交通施設のバリアフリー化等を進めるなど交通環境が整備され、誰もが安心して暮らすことができる状況。



### 【基本方針5】人にやさしく災害に強い交通まちづくり

#### ● 安全で安心して移動できる空間づくり

#### 1. インクルーシブ社会の実現に向けたバリアフリーの推進

インクルーシブ社会（誰も排除されない社会）の実現に向け、利用しづらい交通環境を減少させるバリアフリーの取組を進めます。

歩道のバリアフリー、鉄道駅のバリアフリー 等

#### 2. 交通安全対策の推進

交通事故の減少を目的に、交通施設の安全性向上に向けた取組を進めます。

生活道路への通過交通対策、通学路点検  
交通ルールやマナーの啓発 等

#### 3. 既存交通施設の適正な維持管理の推進

既存交通施設の安全性のため、適正な維持管理に向けた交通施策を展開します。

交通施設の安全点検の強化・充実 等